

事業計画書  
収支予算書

自 令和 05 年 4 月 1 日  
至 令和 06 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 フォレストサイクル元樹

住所 宮城県栗原市若柳上畑岡大立85-3  
電話番号 090-9631-1610

令和4年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

令和05年4月1日から令和5年年3月31日まで

特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹

科目	金額(単位:円)		
1 収入の部			
1 会費収入			
正会員会費収入	¥ 80,000		
学生正会員会費収入	¥ 0		
賛助会員会費収入	¥ 0		
		¥ 80,000	
2 事業収入			
森林整備保全事業収入 (ホダ木生産事業・原木&薪販売)	¥ 4,500,000		
木質バイオマス普及事業収入 (薪ストーブ販売&設置工事等)	¥ 0		
間伐材工房運営事業収入 (間伐材加工品販売・受注製作等)	¥ 5,500,000		
木育等木づかい普及事業収入 (ワークショップ。出前講座・イベント等)	¥ 100,000	¥ 10,100,000	
3 補助金収入	¥ 0	0	
4 寄付金収入			
当期収入合計(A)			¥ 10,180,000
前期繰越収支差額			-¥850,246
収入合計(B)			¥ 9,329,754
II 支出の部			
1 事業費			
森林整備保全事業支出 (ホダ木生産事業・原木&薪販売)	¥ 1,200,000		
木質バイオマス普及事業支出 (薪ストーブ販売&設置工事等)	¥ 0		
間伐材工房運営事業支出 (間伐材加工品販売・受注製作等・販路開拓)	¥ 7,000,000		
木育等木づかい普及事業支出 (ワークショップ。出前講座・イベント等)	¥ 50,000	¥ 8,250,000	
2 管理費			
人件費	¥ 720,000		
その他経費	¥ 400,000	¥ 1,120,000	
当期支出合計(C)			¥ 9,370,000
当期収支差額(A)-(C)			¥810,000
次期繰越収支差額(B)-(C)			-¥40,246

# 令和5年度事業計画書①

## 特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹

### 事業実施の方針

## はじめに

令和5年度の事業は、スタート段階にて前年度を含む過年度との比較で、林野庁補助事業補助金及びホダ木出荷量の大幅減少により、約450万円の収益減少が見込まれております。法人事業を継続する為の施策を模索しながら、4月～8月迄の5ヶ月間経過段階での新年度事業進捗状況、及び残り7ヶ月の事業計画を策定し記載しました。

## 1. 森林整備保全事業

### 新たなコナラ高密度エリアの探索と、板・角材等用材用途での広葉樹確保

- ・7年目を迎える岩泉での事業活動であり、昨年度の大口径発注が今年度も見込まれるかが不透明な状態且つ、前年比2,000本減でのスタートであったが、今年度は昨年の大口径発注先より8,000本の受注を確保し合計1万本の受注であるが、今年度及び来年度以降の大口径数量を担保できる密集地が未だ不確定である。候補地自体は複数箇所ある為、早急に選木調査にて今年度の収量を確定すると共に、来年度以降の収量確保の為の新たな密集地の探索を年度内に実施してゆく。
- ・キューブ&プレート作成用多種類の広葉樹採取と、用材としての板や角材の取得に向けた指定樹種大径木の伐採・玉切り・搬出 → 製材 → ストックの仕組みを構築し、DIY向けニーズでの販売と、工房制作品原材料としての活用を進める。
- ・薪材の定期継続的な工房への輸送確立と、輸送コスト&森林整備活動コスト意識を高める。



# 令和5年度事業計画書②

## 特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹

### 事業実施の方針

## 2.間伐材工房の運営事業 4.木育等木づかい普及事業

### 新規開発の「森のブーブ・ままごと台」他遊具の直接アプローチ&SNS等活用の普及

- ・毎年懸案事項として挙げていた「新鮮な活動情報の発信」を、令和5年度から確実に実施してゆく。大幅な収益減少が見込まれ、期のスタート段階では減少分をカバーできる確たるものは見つからずスタッフに法人の現状を説明し、全員で力を合わせこの難局を打開してゆく為の1つの施策としてもう何年もずっと出来ていなかった法人の新鮮な情報発信を、今年度継続して実施する。スタッフが中心となり、Twitter・ブログ・Instagram等SNSを活用して、遊具を中心とした木製品の情報や、活動の様子などを定期的に発信し、人の目に触れる機会を増やすことに注力。併行して現在進行形含め過去に取引があった事業者への、個別の直接アプローチにて法人の窮状説明の上需要ニーズを確認。収益に繋げてゆくと同時に施設での遊具等のニーズやヒント・アドバイスの収集と、法人のSNS情報へのフォローや拡散等のお願いを継続してゆく。
- ・直近3年間の工房運営にて、設備投資・開発に多額に資金や多くの時間を費やし開発し製品化した、「木のたまごコロロ」関連の商品が、見込みを大幅に下回り普及できない現状がある。「木のたまごプール・いわての森の恵み缶」の情報発信をもっと定期継続的に実施し普及と収益向上に繋げる。
- ・幼保施設運営者からの遊具ニーズをヒントに、多々アドバイスを基に開発した小型遊具「森のブーブ・ままごと台」の普及展開を、宮城・岩手両県の幼保施設への「遊び体験ワークショップ」を含めた直接アプローチを実施してゆく。詳細は未定も、2024年1月開催「モクコレ2024」出展での普及展開



# 令和5年度事業計画書③

## 特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹

### 事業実施の方針

## 2.間伐材工房の運営事業

### 大手遊具メーカーからの木製遊具製作委託事業について

・新年度スタートして5ヶ月目の8月に、法人HP内ストアサイトより”間伐材ログキッズ”の大パーツ1枚のorderが個人名にて入った。たった1枚のorderにて、錯誤の可能性もある為メールにて確認するも間違いではなく、サンプルとして欲しい旨の返答あり。購入者名検索すると、遊具輸入販売や園庭施工を手がけ、全国の幼保施設や行政機関・商業施設を取引先に持つ大手遊具メーカー「株式会社アネビー」代表者。ログキッズパーツ発送後連絡があり、同月中旬に代表者である熊尾氏とWEB会議開催希望との依頼があり対応する。アネビー社が製作販売している「ドリームログ」の加工を、支給材料(輸入材)でお願いしたいとの事。当会のログキッズとサイズが少し違うだけで、パーツ種類やパーツ毎の枚数・遊び方も全く同じで、80set分位のウエスタンレッドシダー材約6,000枚は手当済みとの事で画像にて確認。確保済み。担当者から近日中に図面や支給材の内容を送るので加工して欲しいとの事。担当とのやりとりで、6フィートの板108本と商品サンプル発送にて、製作可能分を当会試算見積額にて正式にorder有り。初回加工の約3set分は既に納品済み。今後の継続的な加工作業委託に繋がるかは確定ではないが可能性は高く、実現すれば安定的な収益確保の道が初めて開ける。WEB会議の席上、手始めに「ドリームログ」の加工だが、「木のたまごプール」への興味も高く、当会の活動全体を高く評価しており、今後この大きなキッカケを足掛かりに転機の年となる様進めてゆく予定。

## DREAM LOG -ドリームログ-

ドリームログでお家を作ってみると、実際に入ってみたり登ってみたり、まるで絵本の世界が現実に現れるような驚きを体験できます。



価格 (税抜)

¥380,000

サイズ : W9.0×T4.0×L20/78/136.5cm  
総重量 : 約80kg

セット内容 :  
20cm×50個、78cm×24個、136.5cm×24個

